

令和3年(2021年)度 事業報告書

令和3年(2021年)4月1日から令和4年(2022年)3月31日まで
認定特定非営利活動法人 聖地のこどもを支える会

2022年5月15日

1. 事業の実施状況

総括

2020年1月から始まった新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大は、2021年度も全世界でその猛威をふるい続けた。ワクチン先進国と言われたイスラエルでさえ数多くの感染者を出したが、長年続く紛争に苦しむパレスチナでは、国家基盤が脆弱なことからさらにその被害が拡大し、学校教育にも支障を来たしている。

さらに2021年5月にはイスラエル・パレスチナで武力衝突が起きて12日間続き、双方で240人あまりの犠牲者(特にガザ地区での犠牲者が多い)を出してしまった。イスラエル・パレスチナ問題に対する、諸外国の関心が薄れてしまった中で、この紛争が今なお「現在進行形だ」という事実を確認させられる出来事であった。平和への道のりはまだ遠いと実感させられる。

だからこそ年初に私たちは、「教育こそ平和への確実な道」という当法人の信念を再確認し、1)子どもたちの教育支援、2)次世代を担う若者のために「対話による平和構築」を促す取組、3)情報発信という当法人の3本柱の事業をさらに続ける決意を新たにした。しかしながら、1)教育支援と情報発信については、ほぼ計画通り実施できたものの、2)の若者たちのための活動はほとんどできなかった。様々な理由があるが、先ずコロナ感染症拡大が挙げられる。イスラエルおよびパレスチナ、そして日本の入国・出国規制のため、2021年度も対面での活動がほとんど実現できなかったことが残念である。

(財政基盤)

- 今期の経常収益には、11,120千円(前年度比2,442千円減、約21%減)となった。今年も「平和の架け橋プロジェクト」が実施不可能となり、さらに「スタディ・ツアー」も延期となり、参加費収入が全くなかったこと、寄附金もコロナの影響で多少減収となったことなどの影響がある。特に前年度いただいた持続化給付金2,000千円が今年はなかったことが大きい。

- 経常支出に関しては、11,799千円(957千円増、前年度比約8%増)であった。事務所体制が脆弱なため、業務委託費、人件費などが多くなったのも一因だろう。

- 認定NPO法人が満たすべき要件として、年間3,000円以上を寄付した支援者が100人以上いることが挙げられる。(パブリックサポートテスト)

当法人は、その要件を以下のとおり満たしている。

3000円以上の支援者数 (正会員・賛助会員を含む)	439名(2020年度) ⇒ 417名(2021年度)
3000円以上の寄付金総額 (正会員費を含まない)	¥ 10,860,935(2020年度) ⇒ ¥10,618,435(2021年度)

この小さなNPOが活動できるのも、当法人の理念に共感して寄付を続けてくださっている数多くの支援者のおかげである。平和の実現を信じて、長年、聖地の子どもや若者を応援して下さっている方々に、心からの感謝の意を表したい。

教育支援事業

令和3年度(2021年)は、連帯事務局へは、予算どおり3,300千円送金することができた。援助した学校数は21校、援助した児童は延べ127名である。

その中には約30名の里子も含まれているが、今年その3分の1が、転校したり、連帯事務局から連絡不能になったりしているのも気がかりである。(生活苦のために家族で海外移住をしている例もある。)

紛争の長期化による貧困層の拡大、コロナ禍での物価高騰があり、従って学費の上昇という悪条件が重なっている。しかも、円安で日本円による支援金の価値がイスラエル通貨シェケルに対し、大幅に低下している。私たちの支援金は大海の一滴に過ぎない。

今後、一層のご支援をお願いするとともに、限りある支援金をどのようにより有効に使うかを考えなければならない。

青少年国際交流事業

1. イスラエル・パレスチナ・日本の若者がつくる《平和の架け橋》プロジェクト

2021年度は、再びCOVID-19の感染拡大を受け、実施を断念することとなった。

2. イスラエル・パレスチナ スタディ・ツアー《平和を願う対話の旅》

2022年2月末から12日間のスタディー・ツアー実施を見据え、8月から企画、現地手配、オンラインでの説明会(3回)、参加申込者のための事前研修会(4回)などを実施した。(参加希望者は社会人を含め12名)。しかし、1月末には現地と日本のコロナ感染状況を見て、延期を決定せざるを得なかった。現在2022年度8月に実施を模索しているが、現地の物価高騰、日本の円安、ウクライナ危機、航空券、燃油サーチャージの価格高騰などにより、大きな困難が予想される。

普及啓発事業

平和の問題やイスラエル・パレスチナ紛争に関心がある日本の支援者に対して、現地情報を発信することは当法人の根幹事業の一つであり、そのためには情報収集が欠かせない。今年も現地スタッフ、およびすでに当方の活動に参加したOB/OGの協力を得て、記事やレポート、写真などを提供してもらった。それらの資料は、イベント、ホームページ、ニュースレター、SNSなどを通じての情報発信事業のために大いに役立った。また、海外からの理解や協力を得るために、英語版HPの作成を始め、ほぼ完成に近づいている。

2. 事業に関する事項

(1) 教育支援事業

事業内容	実施期間	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲と人数	事業費(千円)
今年度も教育支援金として予算どおり3,300,000円を送付した。現地の連帯事務局によれば、紛争による貧困に加え、すでに2年続くコロナ禍や物価高騰で学費が高額になったので、教育事情はさらに悪化し、就学困難児童は増加している。今年度は転校したり、行方が分からなくなったりした(親の海外移住などで)児童があり、里親・里子のマッチング調整が増えた。	8月 3月	法人 事務局	3名	イスラエル・パレスチナの子どもたち 約127名	4,073

(2) 青少年国際交流事業

1) イスラエル・パレスチナ・日本の若者がつくる《平和の架け橋》プロジェクト2021

事業内容	実施期間	実施場所	従事者の人数	受益対象者範囲と人数	事業費(千円)
実施に向けて、現地スタッフとともにいろいろな準備(打合せ、募集要項作成、参加者募集、選出、手配)などを行ったが、コロナの感染拡大(第5波)があり、東京オリンピック・パラリンピック開催と重なったため、またイスラエル・パレスチナの感染状況悪化のため断念せざるを得なかった。	4月~8月	法人事務局 オンライン	4	-	525

2) 「平和を願う対話の旅」イスラエル・パレスチナ スタディ・ツアー2022

事業内容	実施期間	実施場所	従事者の人数	受益対象者範囲と人数	事業費(千円)
スタディ・ツアー参加学生の募集と選出: ☆ スケジュール策定(現地との協力のもと) 実施期間:2022年2月24日~3月7日 ☆ 募集要項作成・HPやインターネット、イベント募集サイトなどを利用して募集する。 ☆ オンラインによる説明会(3回開催): PowerPointを使って、当NPOの紹介、また事業の主旨、目的、行程、活動内容、参加条件などを紹介した。すでに当NPOの活動に参加したOB/OG(3カ国)の体験談も好評であった。 ☆ 応募者の面接と選出 12名	9~12月	法人事務局 オンライン	15名	説明会参加者/ 応募者 約60名	508
スタディ・ツアー参加学生の事前研修(全4回): ☆ 初回は対面で、2~4回目はオンラインで。 ☆ イスラエル・パレスチナ紛争の歴史と現実、それぞれの社会が抱えている問題を学ぶ。研究発表、ワークショップ、講演会など。 ☆ 事前研修の企画・実施などについても極力、学生たち(OB/OGおよび参加予定者)の自主性とイニシアティブにまかせた(彼らのさらなる成長のため)。	12月~2月	四谷: 若葉修道院 オンライン	10名	22名	
スタディ・ツアー延期: 「平和を願う対話の旅」実施は、残念ながら、コロナ感染拡大(第6波)のために中止を余儀なくされた。2022年8月後半に延期する。	—	—	—	—	

(3) 普及啓発事業

事業内容	実施期間	実施場所	従事者の人数	受益対象者範囲と人数	事業費(千円)
印刷物による情報発信 例年のように、年4回本会紹介パンフレット、教育支援お願いパンフレット、同ポスターおよびニュースレター「オリーブの木」を発行配布し、本会の活動、並びに現地の子どもの現状を支援者、団体などに報告した。	5月 8月 11月 2月	法人事務局	20名	支援団体 及び 支援者 約3000名 他不特定 多数	2,807

<p>ホームページやSNSによる情報発信 HPに随時本会の活動内容を掲載し、イスラエル・パレスチナ紛争のホットニュースを正義と公正と和解を目指す立場から紹介した。日本語のHPをより分かりやすくアピール力があるようにさらなる改善を加えた。目標としていたHP英語版作成については、時間がかかったが、ようやくほぼ完成に近づいた。</p>	年間常時	法人事務局	5名	一般市民 不特定 多数
<p>メーリングリストなどによる情報発信 国際協力NGOセンター（JANIC）、JICA Partner、NGO Network Japan、その他を通じ、NGO/NPO活動に関する情報収集やWEB上での広報活動、および募金活動を行った。</p>	年間常時	法人事務局	3名	一般市民 不特定 多数
<p>情報の収集活動 インターネット、メディアを通じて、イスラエル・パレスチナ情勢に関連する情報の収集活動を行った。特に現地スタッフからは、現地からの生の情報をもらうことができたことは幸いであった。</p>	年間常時	法人事務局	3名	一般市民 不特定 多数
<p>オンライン青少年国際交流会 上記(2)のプロジェクト、スタディ・ツアーの開催が出来なかったため、過去の参加者を含めた勉強会や交流会をオンラインで実施しようと試みた。だが、若者たちのコロナ疲れ、オンライン疲れのためか、目立った成果はなかった。今後どのように効率よく実りある活動が出来るかを再考する。</p>	5月 ~12月 8回	ズーム	15名	約50名
<p>オンライン講演会 1) 講演会 プロジェクトOB/OGおよび支援者のため、NHKの解説委員であるから直近の中東情勢に関する講演会をお願いし、現地の状況理解を図り、継続的に関心を持ち続けてもらう試みを行った。 2) 早稲田大学国際学生寮での講演会 今回で2度目。寮生の将来の進路勉強会の一環として、平和活動に携わる当法人のビジョン、活動などの紹介を依頼された。またNGO職員としてエルサレムで働くOB 1名、外務省職員としてアンマンで働くOG 1名が、当法人の事業に参加して得たインパクトなどについて話し、好評を得た。</p>	7月 2月	ズーム ズーム	5名	約100名 約40人
<p>パイプ・オルガンコンサート: (聖地の子どもの教育資金を募るため)ヤクープ・ガザウィによるパイプ・オルガンコンサートを各地の教会で3~4回開催の計画を始めたが、日本政府のコロナ感染に関する水際対策のため、オルガニスト自身の来日が叶わなかった。</p>	9月~ 10月	仙台 東京 大阪 などを 予定	3	—

令和3年(2021年)活動計算書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	386,000	
賛助会員受取会費	90,500	476,500

【受取寄付金】

受取寄付金	10,590,528	
施設等受入評価益	0	
ボランティア受入評価益	0	10,590,528

【受取助成金等】

受取助成金	0	
受取補助金	0	0

【事業収益】

参加料金収益	46,000	46,000
--------	--------	--------

【その他収益】

受取利息	18	
為替差益	7,111	
雑収益	0	7,129

経常収益計

11,120,157

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料手当(事業)	938,987
役員報酬(事業)	754,000
通勤費(事業)	71,471
法定福利費(事業)	102,522
退職金(事業)	0
人件費計	1,866,980

(その他経費)

業務委託費(事業)	674,100
諸謝金(事業)	33,063
水道光熱費(事業)	37,293
地代家賃(事業)	1,002,500
印刷製本費(事業)	323,375
通信運搬費(事業)	619,311
会議費(事業)	18,710
旅費交通費(事業)	272
旅費海外(事業)	0
研修費(事業)	2,321
消耗品費(事業)	5,060
賃借料(事業)	0
租税公課(事業)	0
支払手数料(事業)	31,703
支払助成金	3,300,000
その他経費計	6,047,708

事業費計

7,914,688

聖地のこどもを支える会

【管理費】

(人件費)

給料 手当	1,162,529
役員 報酬	473,000
通 勤 費	100,820
法定福利費	94,635
退職給付費用	0
退職金	0
人件費計	<u>1,830,984</u>

(その他経費)

業務委託費	249,952
会 議 費	19,597
水道光熱費	37,294
地代家賃	497,500
通信運搬費	55,573
旅費交通費	9,077
消耗品費	89,565
修繕費	0
広告宣伝費	0
研修費	5,030
諸謝金	867,945
諸 会 費	41,375
租税 公課	1,000
支払手数料	172,878
為替 差損	0
雑 費	0
新聞図書費	3,850
交際費	2,600
その他経費計	<u>2,053,236</u>

管理費 計

3,884,220

経常費用 計

11,798,908

当期経常増減額

△ 678,751

【経常外収益】

前期損益修正益	5,754
経常外収益 計	<u>5,754</u>

【経常外費用】

前期損益修正損	0
経常外費用 計	<u>0</u>

税引前当期正味財産増減額

△ 672,997

当期正味財産増減額

△ 672,997

前期繰越正味財産額

3,085,933

次期繰越正味財産額

2,412,936

【活動計算書の注記】

前期損益修正益：2019年度未払金の一部修正

貸借対照表

特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会
全事業所

【税込】(単位:円)
2022年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	681,975
現金	37,664	前受金	0
現金 外貨	34,536	預り金	25,396
郵便貯金	2,322,556	流動負債合計	707,371
普通預金	525,531	【固定負債】	
現金・預金計	2,920,287	退職給付引当金	0
(有価証券)		固定負債合計	0
有価証券	14,350	負債合計	707,371
有価証券計	14,350	正味財産の部	
(棚卸資産)		前期繰越正味財産	3,085,933
棚卸資産	28,949	当期正味財産増減額	△ 672,997
貯蔵品	1,221	正味財産合計	2,412,936
棚卸資産計	30,170		
(その他流動資産)			
前払費用	0		
短期貸付金	155,500		
その他流動資産計	155,500		
流動資産合計	3,120,307	負債及び正味財産合計	3,120,307
資産合計	3,120,307		

【貸借対照表の注記】

棚卸資産：バザー用品

貯蔵品：はがき

短期貸付金：クレジットカード払い会費・寄付金2022年3月分

財 産 目 録

特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会
全事業所

[税込] (単位:円)
2022年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】			
(現金・預金)			
現金		37,664	
現金 外貨		34,536	
USD	17,749		
ILS	16,787		
郵便 貯金		2,322,556	
郵便貯金口座	565,108		
郵便振替口座	1,752,761		
郵便振替口座	4,687		
普通 預金		525,531	
三菱UFJ	326,956		
三菱UFJ	198,575		
現金・預金 計		2,920,287	
(有価証券)			
有価 証券 (切手)		14,350	
有価証券 計		14,350	
(棚卸資産)			
棚卸 資産		28,949	
棚卸資産 計		28,949	
(その他流動資産)			
前払 費用		0	
短期貸付金 (クレジット払い会費・寄付)		155,500	
貯蔵品 (はがき)		1,221	
その他流動資産 計		156,721	
流動資産合計		3,120,307	
資産合計			3,120,307

《負債の部》

【流動負債】			
未 払 金		681,975	
	380,650		
池田税理士事務所	14,850		
(株)ロボットペイメント	12,790		
	13,000		
	11,050		
	37,154		
	29,375		
	71,472		
	95,900		
	15,734		
前 受 金		0	
預 り 金		25,396	
雇用保険預かり	4,009		
源泉所得税預かり	408		
源泉所得税預かり	2,160		
源泉所得税預かり	8,793		
源泉所得税預かり	3,550		
源泉所得税預かり (謝金納特分)	5,282		
源泉徴収税預かり (特納分)	1,194		
流動負債合計		707,371	
【固定負債】			
退職給付引当金		0	
固定負債合計		0	
負債合計			707,371
正味財産			2,412,936

令和3年度年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

聖地のこどもを支える会

特定非営利活動法人

1 確認事項 (法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

- ✓以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)
- ✓各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名		
1	○理事・監事	イノウエヒロコ	令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日	令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日
		井上 弘子		
2	○理事・監事	ナカヤマユリア	令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中山 夕里亜		
3	○理事・監事	タセイノリコ	令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		田制 則子		
4	○理事・監事	サトウカツヒロ	令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		佐藤 克裕		
5	○理事・監事	ムラカミコウイチ	令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		村上 宏一		
6	○理事・監事	フクシマタカカズ	令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		福島 貴和		
7	○理事・監事	ヒラキトモヨ	令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		平木 朋世		
8	○理事・監事	ノグチヒロユキ	令和3年 4月 1日 ～ 令和3年 6月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		野口 裕之		
9	○理事・監事	ナイトウトオル	令和3年 7月 1日 ～ 令和4年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		内藤 徹		
10	理事・○監事	ヒュウガジツカサ	令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日	令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日
		日向寺 司		

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 聖地のこどもを支える会

	氏 名	
1	福島 貴和	[Redacted]
2	中島紀史子	
3	村上 宏一	
4	守口 毅	
5	阿部 圭子	
6	山田 康子	
7	堀 正巳	
8	渡邊 禮子	
9	倉田 昌子	
10	平木 朋世	
11	葛西 咲子	
12	鈴木 典子	